

# 令和4年 火災発生概況

令和4年中における当消防本部管内の火災発生件数は、14件（前年比9件減）となっており、建物火災6件（前年比7件減）、林野火災0件（前年同数）、車両火災4件（前年同数）、その他の火災4件（前年比2件減）となっています。

町別では、遠軽町で9件（前年比1件減）、湧別町で2件（前年比5件減）、佐呂間町で3件（前年比3件減）の火災が発生しています。

火災損害状況については、建物焼損床面積300㎡（前年比1,959㎡減）、建物焼損表面積61㎡（前年比18㎡増）、林野焼損面積0a（前年同数）、車両焼損台数5台（前年同数）で、損害額は42,646千円（前年比62,750千円減）の大変貴重な財産が失われ、また、火災による負傷者は3人で、死者は2人となっています。

月別では、8月の4件が最も多く、1か月当たり1.2件となっています。

用途別では、建物火災のうち住宅火災が高い割合を示しており、5件発生しています。

原因別を件数が多い順にみると、「ストーブ」が原因による火災は3件で建物火災の半数を占めており、次いで「たばこ」2件、「電灯・電話等の配線」2件、「電気機器」1件の順となっています。

当消防本部管内では、全ての住宅に住宅用火災警報器の設置が義務化され10年以上が経過し、交換時期を超えた機器が多く存在していることが予想されます。また、設置状況調査の結果から定期的に点検を行っている世帯は約2割で、電池切れや故障も確認されています。全国において住宅火災による死者の半数が「逃げ遅れ」であり、大切な家族の命を住宅火災から守るためにも、住宅用火災警報器を設置し適切な維持管理を行う必要があります。

今後、消防機関といたしましては、より一層の住宅防火対策の推進、火災予防啓発活動の強化を図るとともに、住民一人ひとりの防火意識の高揚に努めるものであります。

近年の火災発生状況（令和2年～令和4年）

年別	出火件数							焼損状況				損害額 (千円)	死者	負傷者	焼損棟数	り災世帯数	り災人員数		
	建物				林野	車両	その他	合計	床面積 (㎡)	表面積 (㎡)	林野 (a)							車両 (台)	
	全焼	半焼	部分焼	ぼや															
組合管内	R4	2		1	3		4	4	14	300	61		5	42,646	2	3	10	7	13
	R3	5	2	4	2		4	6	23	2,259	43		6	105,396		4	17	6	12
	R2	7	1	1	3	1	6	4	23	1,645	99	5	7	60,544	1	1	17	8	12

## 身近にある火災の原因

### 放火・放火疑い

家の周りに置かれた不用品やごみステーションなどに放火される火災が全国各地で発生しています。普段から放火されない環境作りを行いましょう！



### たばこ



たばこの小さな火種は、小さな火でもくすぶり続け、数時間経過してから燃え上がることがあります。たばこの始末は喫煙者のマナーです！

### コンロ

鍋を火にかけていることを忘れてしまい、気づいたころには鍋から炎が上がり、火災に至るケースが特に多いです。火のついたコンロから離れるときはしっかり火を消しましょう！

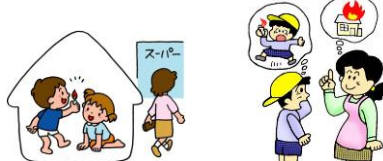


### 電気

電気配線のショートやトラッキングによりコンセントから出火することがあります。定期的に清掃を行いましょう！



### 火遊び



ライターやマッチは子どもの手の届かないところで保管しましょう！小さな子は好奇心旺盛なので特に注意しなければなりません！

### ストーブ

ストーブの周りに燃えやすいものは置いていませんか？また、適切に使用できていますか？ストーブから火災に至るケースは毎年のように発生しています！ご自宅のストーブを今一度、点検しましょう！

